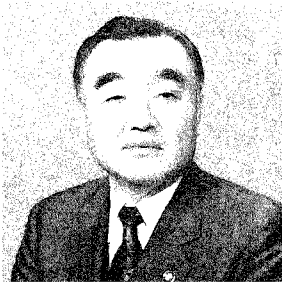


21世紀に向けて

住みよいまちづくり



都留市長 都倉昭二

早いもので二一世紀もあと六年と目前に迫ってまいりました。二一世紀は今世紀に見られた高度成長過程に伴った物質文化から脱却し、心豊かな文化社会の確立、さらには高福祉社会の建設に向け、今から努力していかなければなりません。

には懸案となっております中央自動車道都留インターのフルインター化、国道一三九号都留バイパス第二工区の早期着工といった重要な課題が山積しているところでありますが、二一世紀に向けてこれらを積極的に推進していかなければなりません。

新年明けましておめでとうございます。皆様にはご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は市制四十周年を迎え、これを記念しての市民愛唱歌の決定また、側道古川渡東桂線三橋整備、禾生コミュニティセンター、宝の山ふれあいの里など大きな事業の完成を見たところであります。

これも一重に市民の皆様のご理解とご協力の賜と深く感謝申し上げます。

このような中で国においては、平成七年度重点施策として地方分権大綱方針の策定を踏まえ、地方分権の推進と地方消費税の創設に積極的に取り組むほか、住民参加の視点を重視した新しい地方行政の推進、高齢者・障害者にやさしいまちづくりと子育て支援施策、環境づくり、そして地域の文化振興のためのネットワークづくり等に取り組んでいくこととしております。

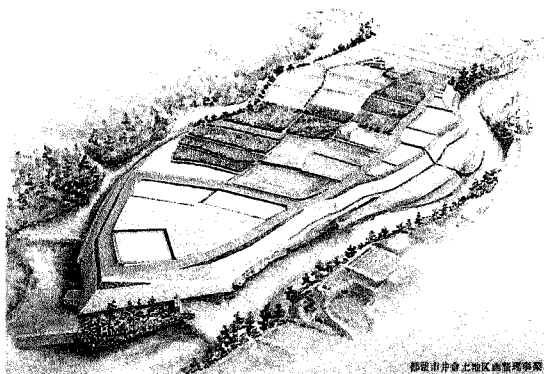
本市におきましても、自主的・主体的な地域づくりを目指すとともに、保健福祉センター建設構想の早期実現、火葬場の整備、下水道整備、温泉掘削の具体化、さら

には懸案となっております中央自動車道都留インターのフルインター化、国道一三九号都留バイパス第二工区の早期着工といった重要な課題が山積しているところでありますが、二一世紀に向けてこれらを積極的に推進していかなければなりません。



昨年開通した柄杓流橋

土地利用と基盤の整備



都留市井倉地区画整理計画

本市の市域の八五％は山地であります。限られた土地の秩序ある有効利用を図らなければなりません。

今日まで、サン地開発事業として遊休地・荒廃地の調査・検討を進め幾つもの住宅・工業団地を建設してまいりました。

現在取り組んでおります大幡兵庫戸団地は、平成七年度中には九二区画の分譲を実施してまいります。また、都市計画区域内の土地について、公共施設の整備改善及び宅地利用の増進を図るため、田原地区、井倉地区の二地区の区画整理事業を促進してまいりました。田原地区につきましても、都留文科大前駅の駅舎の場所も決定し、今後組合設立に向けて積極的

に促進してまいります。井倉地区土地区画整理事業につきましては、昨年九月に組合が設立され、本年四月には工事も完了し、秋にはすべての手続きが完了する予定となっております。

道路整備につきましても側道古川渡東桂線の三橋整備も地域の方々の協力を得る中で完成することができました。国道のバイパスの機能を果たし、交通の利便性が大きい図られております。

谷村本町法能トンネル建設構想につきましては、本町と国道バイパスを結ぶ重要な計画であり、現在庁内に建設推進班を設け、調査検討を重ね実現に向け努力しております。